



J-StarX

AI Medicalコース

募集要項

応募締め切り：2025年7月28日(月) 17:00 (JST)

JETRO

日本貿易振興機構(ジェトロ)

INDEX

- 01 | コース概要
- 02 | プログラム構成
- 03 | スケジュール
- 04 | 対象者・応募要件
- 05 | 費用負担
- 06 | 選考プロセス・基準
- 07 | 応募方法
- 08 | 注意・免責事項
- 09 | 問合せ先

01 OUTLINE | コース概要



目的

米国ヘルスケア市場参入に向けた知識習得、コネクション形成、戦略の策定を行う。
フェーズ2については、AIデジタルヘルス企業を対象に医療データへのアクセスとAIモデルの開発・検証の機会を活用し、その足掛かりを形成する

1	米国のヘルスケアエコシステムや規制に関する理解・市場参入戦略策定
2	現地エコシステム関係者とのコネクション形成
3	医療データへのアクセスとAIモデルの開発・検証支援

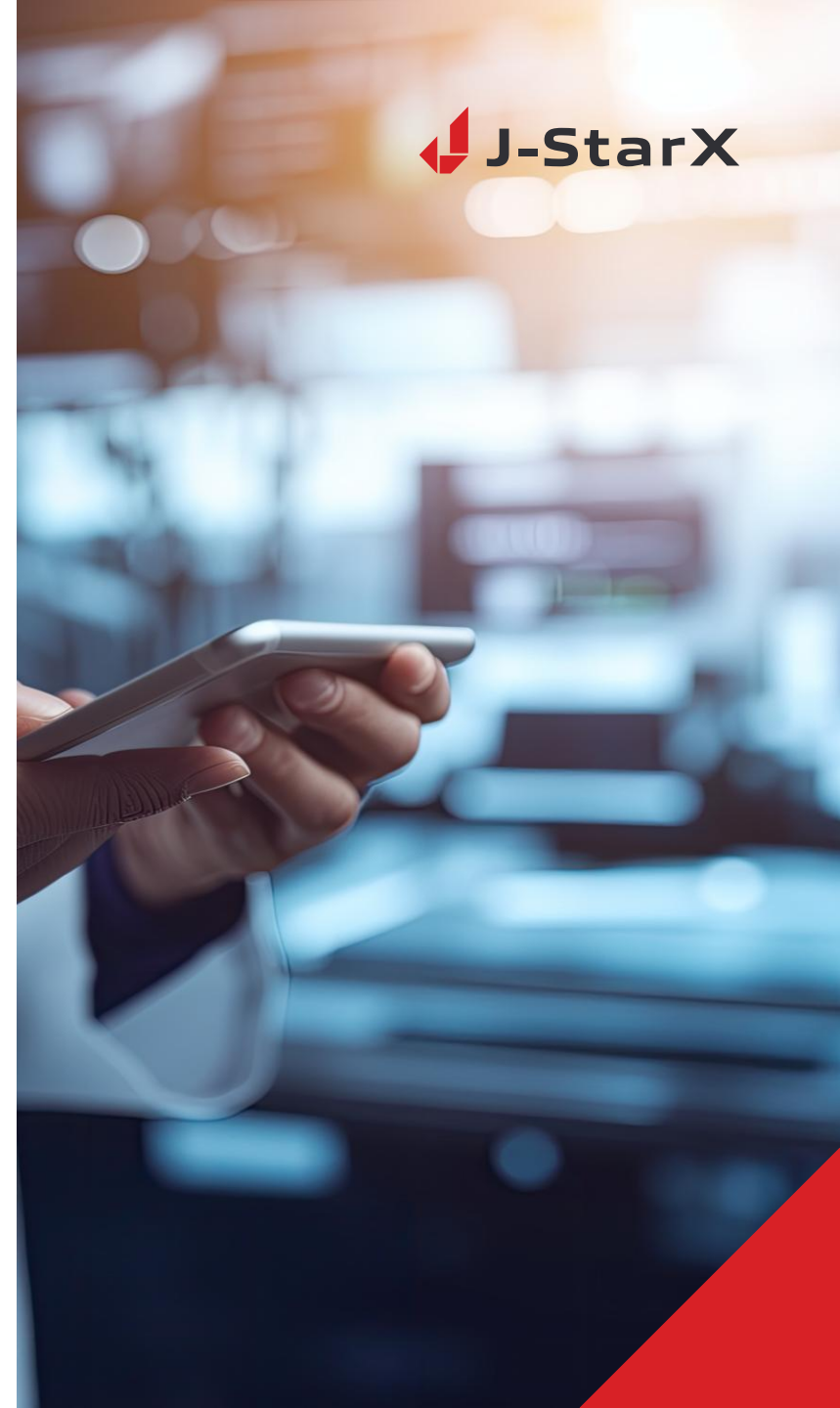
派遣先

米国 ミネソタ州

主な対象

対象企業	日本に活動拠点のある日系ヘルステックスタートアップ
ステージ	シード～シリーズB程度
分野	米国市場参入を目指すデジタルヘルスケア分野（フェーズ1） AIを活用したヘルステックプロダクトを持つスタートアップ企業（フェーズ2）
その他	アメリカでの事業展開や資金調達を検討していること

※渡航対象者等の応募条件の詳細は「04 | 対象者・応募要件」をご確認ください



02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 全体像



本コースは、2つのプログラムで構成されています

両プログラムの参加もしくは片方のみの参加、どちらも可能となりますが、それぞれのプログラムに応募し、採択される必要があります

1 基礎プログラム(Phase1)



レクチャー&渡航プログラム (12社)

- 米国ヘルスケア市場参入に向けた基礎知識のインプットを実施
- 渡航プログラムでは、米国最大級の患者データ・ネットワーク等を有するMayo Clinicを訪問し、ネットワーク機会や投資家とのディスカッション機会を提供

2 医療データ活用プログラム (Phase2)



AIモデルの開発・検証 & デモデイ (4社)

- AIモデルの開発・検証
- メンターとの1on1による目標達成サポート
- Mayo Clinic関係者や投資家とのリレーション構築、協業等を目的とした現地ショーケースを開催

1 基礎プログラム(Phase1) | レクチャー & 渡航プログラム

米国ヘルスケア市場参入に向けた基礎知識のレクチャーを実施
Mayo Clinicを訪問し、現地でのコネクション形成をサポート

定員 最大12社

日程 レクチャー：9月上旬～12月上旬（予定）
米国訪問(渡航期間含む)：10月頃に1週間（予定）

対象 米国市場参入を目指すデジタルヘルス分野の日系スタートアップ

概要

- **オンライン講義** 週1回、各60-120分程度

- 市場参入戦略、日本との文化の違い
- 現地参入スタートアップの話を聞く
- USヘルスケアエコシステムの理解
- アドミニストレーション、HR、法律、VISA等

- **ハンズオンBDセッション** 各60分程度

- ゴールとネクストアクションの設定と支援
- 現地渡航に向けた準備 等

- **現地渡航 (米国 ミネソタ州)**

- ピッチコーチング
- 米国市場の基礎知識の理解(AI活用への規制、日本のスタートアップの米国参入事例等)
- MayoClinic臨床チームや専門家等とのコネクション形成サポート
- ピッチイベントおよびネットワーキング機会

※プログラムの実施内容・形式等に変更になる可能性があります
※オンラインプログラムは英語・日本語、渡航プログラム中は英語使用予定となります

2 医療データ活用プログラム(Phase2) | AIモデルの開発・検証 & デモデイ

250万人以上の患者データを含むクラウド環境を活用した30週間のバーチャルアクセラレータープログラム
米国市場への進出支援と業界専門家との連携機会を提供

定員 最大4社

日程 2026年2月頃～2026年9月頃（手続き完了次第、順次開始）

対象 AIを活用したデバイスやプロダクトを持つヘルステックスタートアップ

概要

- Week1-5(オンライン)

- オンボーディング
- プログラム計画の策定と目標の明確化
- Accelerateチームとの1on1（毎週）

- Week6-25 (オンライン)

- データアクセスおよびAIモデルの開発・検証
- Mayo Clinic臨床チームのメンターからの専門的なフィードバック（最大4時間）
- Accelerateチームとの1on1（毎週）
- ネットワーキング、セミナー

- Week26-30 (オンライン)

- 次のステップにおける目標設定
- メイヨー・クリニックならびに提携医療機関向けの最終バーチャルプレゼンテーション

- 卒業ショーケース (米国 ミネソタ州)

- ミネソタエコシステム内のステークホルダー（Mayo Clinic関係者、投資家等）に向けた3分間のピッチ

※全日程、使用言語は英語となります
※使用ツールはZoomになります

2-1 医療データ活用プログラム(Phase2) | プログラム中利用可能なサポート

プログラム中のサポートとして以下を提供

コンシェルジュサポート

Medical Alley Association（医療とヘルスケアのイノベーションを推進する非営利団体）によるプログラム期間中およびプログラム終了後1年間のコンシェルジュサポート

ネットワーキングとリソース支援

Mayo Clinicによる外部企業とのコネクション形成サポートや資金調達、ソリューション開発支援

SaMDに関する教育とアセットの活用

米国進出の際、ヘルスケア企業にかかる規制についてのセミナーへの参加や規制対応テンプレートの利用が可能

2-2 医療データ活用プログラム(Phase2) | プログラム終了後利用可能なサポート

プログラム終了後のサポートとして以下を提供

アクセラレーションチームからのサポート

4半期毎にアクセラレーションチームによる各企業への進捗状況把握と継続した支援の提供

企業との連携支援

Mayo Clinicと協業したい企業をつなぐMayo Clinic Innovation Exchangeによるプログラム終了後6か月間の無料サポート

02 PROGRAM STRUCTURE | プロジェクトメンバーの紹介 – Mayo Clinic Platform



[Jamie Sundsbak](#)

Director - Accelerate

シリアルアントレプレナー。その経験を生かし、現在は起業家支援に専念



[Adam Choe](#)

Partner Relationship Manager

Tundra VenturesのGP。医療系スタートアップの創業と支援に精通。



[Quentin Booker](#)

Program Success Manager

ライセンスアソシエイトとして、技術の商業化を支援



[Lindsey Andres-Beck](#)

Program Success Manager

AIと機械学習ツールを開発するアーリーステージの企業を支援



[Nasibeh Zanjirani Farahani](#)

Technical Success Manager

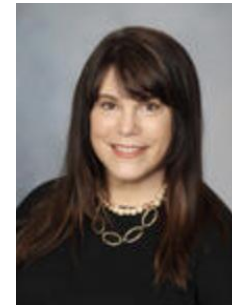
オペレーション調査とビジネス分析分野にて10年以上の経験



[Adam Resnick](#)

Technical Success Manager

トロント大学ロットマン経営大学院で経営分析学の修士号を取得



[Kathy Wendt](#)

Program Coordinator

Mayo Clinicにて29年間の勤務し、ロジ周りの管理やイベントの質の向上を担当



[Steve Bethke](#)

Solutions Developer Market

20年以上にわたり、ヘルスケア業界でのビジネス変革をけん引。MBA所有

02 PROGRAM STRUCTURE | プロジェクトメンバーの紹介 – Mayo Clinic Innovation Exchange



[Dr. Charles Bruce](#)

Chief Innovation Officer

循環器専門医・研究者・発明家であり、7社の創業を支援し33件の技術を事業化。



[Jennie Kung](#)

Vice Chair

Fortune 500企業や社会的使命を持つ医療機関での経験を持つ、グローバルなイノベーション責任者。



Brian Kilen

Principal Business Strategist

メイヨー・クリニックで15年以上にわたり製品・イノベーション戦略を担当。国際市場参入や検査ラボ領域に豊富な経験を持つ。



[Brent Cross](#)

Relationship Manager

医療分野で10年以上にわたり製品開発と事業化を手がけるプロダクトリーダー。



[Boone Allison](#)

Program Manager

営利・地域・滞在型医療施設での運営経験を持つヘルスケアアドミニストレーター

...

02 PROGRAM STRUCTURE | メンターの紹介 – Kicker Ventures



Masashi Kiyomine
Managing Partner

Kicker Venturesのファウンダー & マネージングパートナー。Co-Studioの共同創設者



Tomoko Ishikura
Managing Partner

異文化コミュニケーションとパートナーシップを専門とし、Kicker VenturesではGlobal Fitプログラムをけん引



Tom Hoshiba
CEO & President, Kievit Scientific

ライフサイエンス業界で30年に渡り日本、ヨーロッパ、および米国の主要都市で日本企業の事業開拓を経験



Taka Sano
CEO, PlanEx Business Partners

日米の医療機器業界において17年間、薬事開発、製品設計・開発、マーケティング、及び新規事業開発と、多岐の部門にわたり、新製品の開発初期から導入に関わる職務を経験



Yoichiro Miwa
CEO, Embarkon Partners

約16年間三井物産グローバル投資部門でライフサイエンス分野の投資案件に従事



Kirk Zeller
Founder, Silicon Prairie Center

医療機器分野のグローバルリーダーであり、30年間で複数社の立ち上げを経験。U.S.-Japan Council等にも参画



Nobuhiro Andy Kawai
Owner, Nandrew & Co

東京大学にて薬学の博士号を取得。日米の製薬業界にて、約19年間従事。現在は複数社の戦略アドバイザーを兼務

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 支援機関の紹介



Mayo Clinic Platform Accelerate

Mayo Clinic Platformは、患者ケアと医療に関する研究を行う最先端のデジタルヘルスイニシアチブ。

Mayo Clinic Platform Accelerateプログラムは、2022年3月に開始されたMayo Clinic Platformが運営するアールリーステージのAI-driven型ヘルステック企業を支援するプログラム。



卒業企業は、合計**1億1000万ドル**以上を調達し、ある企業は**1億4400万ドル**でのエグジットを達成



これまで**32社**の企業を採択し、現在**8社**がプログラム受講中



Mayo Clinic Innovation Exchange

Mayo Clinic Innovation Exchangeは、医療スタートアップと臨床医師・研究者・業界専門家をつなぎ、製品開発・検証・事業化を支援する会員制プラットフォーム。

Mayo Clinicの知見とネットワークを活用し、革新的な医療技術の実用化を加速します。



医療機器やAI診断ツールの**FDA承認**の取得および**商業化**を支援した実績あり



Kicker Ventures

Kicker Venturesは、アールリーステージのヘルスケアスタートアップに特化したベンチャーキャピタル。

豊富な経験と専門知識を活かし、イノベーションを促進し、デジタルヘルススタートアップの成長を支援。

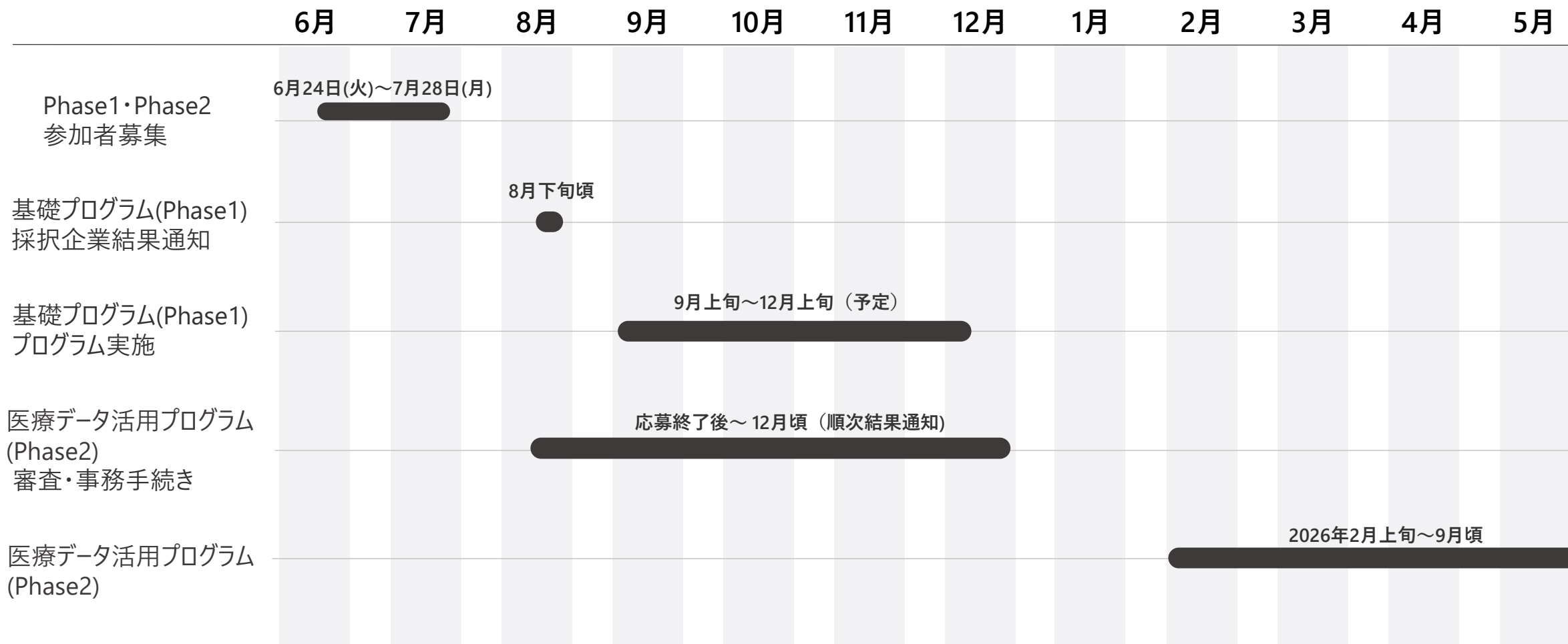


アールリーステージのヘルスケアスタートアップを**20年以上**支援



日本のヘルステック分野のスタートアップへ米国市場参入プログラムを運営し、**50社以上**のスタートアップのメンタリングとアドバイスを実施

03 SCHEDULE | スケジュール



定員

- 基礎プログラム（Phase1）：最大12社
- 医療データ活用プログラム(Phase2)：最大4社

※現地参加は上限2名
※オンライン参加人数は自由

主な対象

対象企業	日本に活動拠点のある日系ヘルステックスタートアップ
ステージ	シード～シリーズB
分野	フェーズ1:米国市場参入を目指すデジタルヘルスケア分野 フェーズ2:AIを活用したヘルステックプロダクトを持つスタートアップ
その他	海外での事業展開や資金調達を検討していること

応募要件

プログラム参加者は以下の全ての条件を満たすこと

<基礎プログラム（Phase1）、医療データ活用プログラム(Phase2)共通>

- 海外展開について意思決定権をお持ちの方（取締役、海外展開責任者）が参加可能であること
- 商談可能な英語力を有すること
- 参加後のアンケート等に協力すること
- 本プログラムが提供するサービス（オンラインセミナー等）に参加するための設備・環境を準備が可能であること

<医療データ活用プログラム(Phase2)応募者>

上記条件に加えて、

- AIを活用したヘルステックプロダクトを有すること
- 参加合意書等にサインが可能であること

※本プログラムは経済産業省・ジェトロが連携して行うプロジェクトであり、随時、フォローアップアンケートや成長過程の調査を実施します

参加者による費用負担

- 米国渡航費（航空券）、米国での宿泊費、移動費、飲食費、通信費、VISA代、保険料などのその他発生する一切の費用
- 国内移動費等
- その他「主催者ジェトロによる費用負担」以外のすべての費用

主催者ジェトロによる費用負担（現物支給）

- メンタリング等のプログラム料
- 現地滞在プログラム実施期間中（Day1-Day4）の食事（※Mayoにて手配）

※上記は全てジェトロまたはMayo Clinicにて手配の上、支給します。
参加者に上記費用を支払うものではありません

※円安やインフレ等の状況を鑑み、来年度以降の主催者側費用負担を縮小また廃止する可能性があります



選考基準

- ・ チームメンバーの専門性・ネットワーク、語学力
- ・ プロダクト、技術、サービスの成長性
- ・ 本コースとプロダクトや事業計画との親和性
- ・ 原則、他のJ-StarXプログラムにて渡航プログラムに参加していないこと等

※本コースよりも上級者向け(Advancedコース等)のJ-StarXプログラムへの申し込みは可能です。重複の可否はゼロにて判断します

※上記記載の両プログラムの参加もしくは片方のみの参加、どちらも可能となりますが、それぞれのプログラムに応募し、採択される必要があります

(注意) Step1,2両方をもって申し込み完了となります

<Step1>



共通エントリーフォーム

<Step2>

フェーズ1・フェーズ2用応募フォームへの申し込み
(Step1完了後、JETROよりメールにてご案内します)

締切

2025年7月28日(月) 17:00 (JST)

-
- ・上記「共通エントリーフォーム」よりJETROお客様登録・イベント申込をお願いします
 - ・上記に加え、JETROよりメールで案内する**フェーズ1・フェーズ2応募フォーム**からの**申込**をもって完了となります
 - ・フェーズ2の選考プロセスは約2か月程度にわたり、上記フォーム提出の他に面接（1~2回程度）や追加書類提出等が想定されます
 - ・フェーズ2に採択された場合、Mayo Clinicと参加企業間でデータ活用に関する契約書を締結していただきます
 - ・必要に応じ、JETROまたはMayo Clinicによる個別面談を行う可能性があります
 - ・審査結果に対する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください

1. 意思決定権のあるCXOクラスの方の渡航をお願いします
2. 医療データ活用プログラム（フェーズ2）参加にあたり、委託先との契約書締結にかかる交渉等についてJETROは関与せず、参加企業ご自身にてご対応いただく必要がありますので予めご了承下さい
3. 必要に応じて、現地交渉先との面談などにもメンターおよびジェトロ職員が同行して、帰国後の成果把握、進捗確認などへの協力をお願いします
4. 本プログラムの選考通過後は、ジェトロ事業の紹介、成果報告のための外部公開をする場合がありますので、ご了承ください（公開内容は事前に確認を行います）
5. 原則、他のJ-StarXプログラムに参加していないことが要件となります

免責事項

[免責事項](#)をよくお読みの上、応募をお願いします

キャンセル規定

如何なる理由においても、同意書提出後のキャンセルは認められません
キャンセル料、もしくは変更料が発生した場合は自社にて負担いただきます

09 CONTACT | お問い合わせ



コース名 AI Medicalコース

実施機関 ジェトロ イノベーション部／スタートアップ課

担当者 畑崎、近藤

問い合わせ先 [J-StarXお問い合わせフォーム](#)

